

河内神社報

発行所:〒731-5151
広島市佐伯区河内
五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社
社務所

夏越の祓い

上半期の災い・禍事・罪・過ちのお祓い
7月7日(日)午後2時より、夏祭りおよび夏越大祓・茅輪神事(夏越神事)を氏神様・河内神社にて執り行います。地域の皆様の神事です。ぜひご参列ください。

宮司 山田 茂雄

新政権が誕生して半年、経済を中心として大きな変化が起きています。歴史を振り返ってみると、伊勢神宮や出雲大社の遷宮の年は、変動の年となっています。

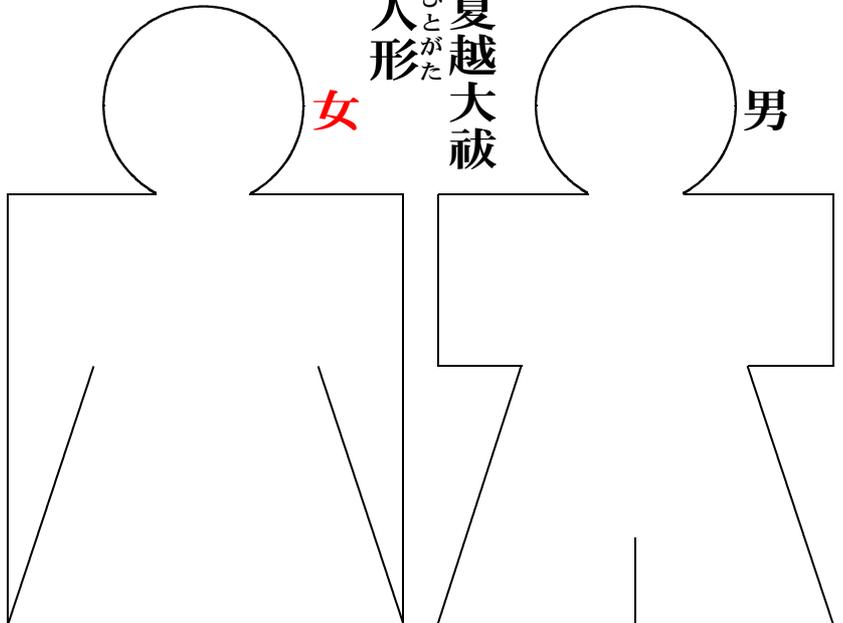
国内外にまだまだ沢山の課題が山積みです。今月は、私たちにも直接、国政に参加できる機会があります。その責任を果たしていきたいものです。

我々は、日々の生活の中で知らず知らず罪を犯し、邪気が身に付きます。夏越神事に参列して、これら罪、穢れ、邪気を祓い清め、下半期に向けて、氏神様の新たな力をいただき、暑い夏を乗り切れるよう祈願しましょう。



夏越大祓

人形ひとがた



不足する場合はコピーでも構いません。

各自、人形に氏名・年齢を記入し、自分の体をさすり、息を吹きかけ、身に付いた半年間の罪や穢れを移し、当日お持ち下さい。

当日ご参列できない方は、事前に人形をお持ち下さい。お参りの方に託されても結構です。人形は、社頭にも当日まで用意してあります。

人形は、事前に地区の氏子総代さんを通じて、各家庭へ配って頂きます。総代さんが不在の地区(藤の木、河内南、遥花等)の方は、本紙の人形を切り抜いてご使用、ご持参下さい。

古代からの御守

茅の輪 | ちのわ |

茅の輪は「備後風土記」に登場します。貧しいながらも蘇民将来は、武塔の神(素戔嗚尊)に一夜の宿を貸してもらってなします。そのお礼に武塔の神は、「蘇民将来の子孫と言つて、茅の輪を腰に付けた人は疫病に罹らない」と言われました。



素戔嗚尊は、当地域の旧八社の日吉神社(祇園さん)の神さまとして河内神社のご祭神です。

御守の中央は、1200年以上前の長岡京の人々が身につけた最古の蘇民将来札で、茅の輪とともに災難除け、健康の御守とする習慣があります。また、平安末期の『拾遺和歌集』の歌に夏越大祓があり、茅輪神事とともに、長寿の神事として信じられています。

茅之輪御守300円、期間限定頒布。夏越神事の当日にご参列の方には、記念(無料)頒布します。

河内神社へのアクセス(周辺図)



夏越大祓

夏越のおおはらい
災い・禍事・罪穢れ祓い清めます



皆様の人形をご神前に納め、参列者全員で大祓の祝詞を唱和します。その後、切麻（麻と和紙を小さく切ったもの）で自分の体を祓い清めます。

祓いの行事の後に、お焚き上げをして、人形に移した罪や穢れを火の力によって祓い除けます。

茅輪神事

災いを防ぎましょう

茅萱でできた茅の輪を神職の先導のもと、8の字を描くように3回くぐり、「水無月の夏越しの祓えする人は千歳の命延ぶというなり」と唱えながら祓い清めて無病息災を祈ります。新しく下半期を迎えるための伝統の神事です。

夏祭り

初穂を供え、安寧を祈ります

夏越神事後、皆様と拝殿に上がり、夏の暑さに負けず健康で家庭平穏に過ごせますように、また、風水害や害虫などの災害が起こらないように、

河内神社の神様に、氏子の皆様から奉獻されたお初穂をお供えし、お祭りを行います。

なお、茅の輪は、6月23日から7月16日まで河内神社の境内に設置してあります。お参りの作法は、茅の輪に表示してあります。

神社豆知識

「直会・なおりい」とは

直会とは、祭式の最後に、神様にお供えした御神酒などを参列者でいただくことをいい、お祭りの一部です。神様へ供えたものを食べることで、神様の新たな力をいただくことができます。

裏面人形
切抜き紙

広島県神社総代会連合会が正式参拝

広島県神社総代会連合会の研修会の一環として、広島県各地の神社の総代会役員の皆様が河内神社に参拝されました。

当日（5月28日）は小雨の中、中丸元夫会長をはじめ、35名がバス2台にて到着。神社では、前日までに河内神社役員と有志で社殿の清掃片付けと、雨天に備えてテント2張を設置してお迎えしました。



の椰の葉を入れて、次の研修先に向かわれました。神社の佇まい、維持管理、総代さんとの協力的制など参考になったとのお声を頂きました。地域とつながる神社を目指します。

神社豆知識

「正式参拝」とは

拜殿に昇殿して、お初穂をお供えし、神主よりお祓いを受け、玉串を奉って、ご神前にて拝礼をする参拝方法です。



広島神社伝承文化

神楽 — かくら

③西日本各地の神楽

瀬川 山田 岳晴

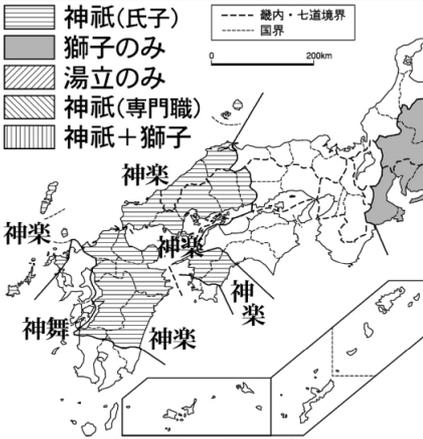


神楽とは、神徳を称え奉納される舞、または祓い清めの舞をいう。そのために全国的には、神楽とよばれるものには巫女舞、湯立舞、獅子舞などもある。広島でみられるような素面で舞う儀式舞と着面などで神々を演じる神祇舞の二つで構成されるもの（神祇神楽）は、必ず神楽とされる。

神楽には地域ごとに特徴があるので、五畿七道と旧街道を基に、今回は西日本をみていく。

畿内と近江（関西）では、都市の町割りを反映して、街路での山車やダンジリなどの曳き物の祭りに押され、神楽は春日大社などわずかな有力神社の巫女舞に限られる。また、獅子舞も一部にみられる。

山陰道（山陰）は、出雲の出雲神楽、石見の石見神楽など、出雲、石見、隠岐で神祇神楽が多く伝承される。秋の例祭時に仮設や常設の舞台で行われる。地域の祖先神・大元神を迎える数年に一度の式年祭



これらのほか、獅子舞・巫女舞なども点在する。時にのみ行うものも少なく、民家の座敷で行うこともある。七座とよばれる儀式舞と神能とよばれる神祇舞で構成さ

れる。莫座を持つて舞う莫座舞や、舞台中央に吊られた杵飾りを操る天蓋が特徴的である。

山陽道（山陽）では、備中の備中神楽、備後の荒神神楽、安芸の十二神祇など、備中から長門で神祇神楽が各地で多く伝承される。秋の例祭時もしくは荒神信仰に基づく式年祭時に、常設または仮設の舞台で行われる。舞台の床は腰高とするなど低い。五行祭祭文にちなむ王子合戦・所望分け・五行とよばれる舞いが重要視される。山間部では山陰道の神楽の流入もみられる。

北海道（四国）では、伊予の伊予神楽、土佐の津野山神楽、本川神楽など伊予南部から土佐西部を中心に神楽がみられる。秋の例祭時に中央を舞台とした常設または仮設の神楽殿で行われる。悪魔払、四天鬼神が特徴的である。

西海道（九州）では、豊後の岩戸神楽、日向の高千穂夜神楽、椎葉神楽、米良神楽、肥後の肥後神楽など、豊前、豊後、日向および肥後を中心に神楽が伝承される。秋の例祭時に、常設または仮設の神楽殿や、神楽宿として選ばれた民家で行われる。岩戸開きの舞いを重視する。湯立や獅子舞もみられる。

若き奉仕団

風ひかる皐月の日。

鎮守の森に若き奉仕がありました。水路にやぶ葉つばや土、石垣に生える雑草に向かう、城山中学校3年の4名の懸命の姿があり



ました。年に一度の職場体験で企業が受け入れ、出向いたのでした。我が村社、合祀から106年目で初めての広島県神社総代連合会の正式参拝の受け入れ準備作業ともなりました。作業の前、大しめ縄の下、柏手が境内のみみじ葉に共鳴しました。

中学生の一人が「神社参拝の時には、参道の端を歩いてお参りするんよ」。目からウロコが落ちました。敬神崇祖、子供たちの心の中に芽吹き、育まれる畏敬の念、心に残る若き奉仕団の一日でありました。

氏子総代長 先本民治

河内神社敬神婦人会に入りませんか

平素、地域の皆様には、総代さんを通じて河内神社にご協力を頂いております。この度、河内神社では敬神婦人会を結成し、鎮守の森から笑顔で暮らせる地域社会づくりに向け、女性ならではの活動ができればと考えました。

氏神さまへの奉仕をはじめ、神さまについての知識を深めるとともに、他地域の神社やお祭りを視察するなど、楽しく進めて行きたいと思っております。

全国敬神婦人会は結成されてから63年、広島県敬神婦人会は31年も経っており、ほかの敬神婦人会のさまざまな活動を参考にしたり、交流することもできます。

河内神社 山田美保子
（佐伯大竹支部神職夫人の会会長
・広島県敬神婦人会副会長）

◎対象：河内神社氏子地域にお住まいの二十歳以上の女性

◎参加申込み：直接河内神社へお越し下さるか、FAXにて氏名・住所・電話番号をお知らせ下さい。

河内神社社務所 FAX(082)927-5215

祈願祭を受付

社頭・出張での祈願祭を受け付けています

河内地域のご家族や団体での祈願祭は、地元を守る皆様の氏神様・河内神社にお申し込みください。



ご家族の祈願祭としては、**初宮詣**・安産祈願・合格祈願・七五三・厄祓い・**歳祝**い・家内安全・自動車祓い、**地鎮祭**(新築)、**家祓**い(入居)などがあります。

団体としては、安心して活動できますように、上達祈願、安全祈願、開店祭、**商売繁盛**、**地鎮祭**、上棟祭など仕事場などでの祈願祭があります。

いづれも、不明なことや日時など、河内神社にご相談、ご予約ください。

河内神社社務所 (082) 928-2283

河内神社ホームページ

日本語

英語

これからの河内神社のお祭り

一年を通じて、豊作を祈る春祭、上半期の厄を祓う夏越神事、収穫に感謝する秋祭、一年の幸せを願う歳旦祭などお祭りがあります。多くの方のご参拝で盛大なお祭りとし、幸せをつなぎたいものです。

祇園祭 7月21日、河内神社にお祀りしている旧下河内村社の日吉神社の御祭神、**素戔鳴尊**を元のお社(権現さん)に一日だけお迎えをし、地区の人が元気に働き、生活する様子を見てもらい、今後と同じように見守ってくださいるようお祭りをします。前夜には、下河内集会所で神楽の奉納、当日は境

内で地区の子供達による相撲大会が行われます。

献灯祭

お盆の8月14日の夜、神社の拝殿に提灯を吊し、皆様の先祖の御霊を迎え、お祭りをします。

その後、小学校校庭で盆踊り大会が行われます。

大事な例大祭(秋祭)

今年10月13日、河内神社では、一年の収穫の感謝のお祭り、例大祭(秋祭)を執り行います。

このお祭りは、日本人の命の源、稲の収穫にあたり、豊かな実りに氏子全員で心を込めて感謝し、今後の御加護を祈るお祭りです。

朝から子供や大人の俵

御輿が出て、河内地域を挙げてのお祭りになります。

前夜祭(神楽奉納)

例大祭の前夜(今年は12日)、地元の河内地域の神楽団による神楽の奉納が、境内特設ステージであります。今年上河内神楽団が奉納し、日頃から練習を重ねてきた成果を披露します。伝統のある十二神祇神楽と花火の奉納は迫力満点です。



河内神社には上河内神楽団「十二神祇と花火」と下河内神楽団「十二神祇と新舞」があり、



毎年交互に神楽が奉納されます。

夜店なども出て、沢山の参拝者で賑わいます。

俵御輿奉納 例大祭の後、各地を練り歩いた俵御輿の奉納が3時半頃からあり、河内神社に集結します。境

内狭しと担ぎまわる俵御輿は勇壮そのものです。

氏神様に七五三詣

11月15日は七五三のお祝いの日です。まずは氏神様にご報告して、お子様の幸福と健康を祈り、祝いましょう。子を思う気持ちは昔から変わりません。神社で記念の写真を撮ってあげましょう。七五三詣は、10月中旬〜11月頃まで受け付けています。電話(082)928-2283

河内神社のこよみ [平成25年下半年期]

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木河内南影が丘の氏神様

- 7月7日(日) 午後2時 夏祭、夏越大祓、茅輪神事
- 7月21日(日) 午後2時 祇園祭(御旅所御神幸)
- 8月14日(火) 午後7時半 献灯祭
- 10月12日(土) 午後6時半 秋祭前夜祭(神楽奉納)
- 10月13日(日) 午後2時 秋祭(例大祭)
- 11月15日(日) 午後2時 七五三詣
- 12月8日(日) 午後2時 新嘗祭(大祭)
- 12月31日(月) 午後6時 除夜祭(大祓)
- 毎朝 日供祭
- 毎月1日・15日 月次祭

日供祭・月次祭では、皆様の日々のご安泰をお祈りしています。午前7時半が、境内の清掃がすんだ後、執り行いますので、こちらにもご参拝下さい。

